

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【公表番号】特表2014-500790(P2014-500790A)

【公表日】平成26年1月16日 (2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-538103(P2013-538103)

【国際特許分類】

B 0 1 D 47/06 (2006.01)

B 0 1 D 53/58 (2006.01)

B 0 1 D 53/50 (2006.01)

B 0 1 D 53/77 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 47/06 Z A B Z

B 0 1 D 53/34 1 3 1

B 0 1 D 53/34 1 2 5 K

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月27日 (2014.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流れ通路 ( 4 ) であって、該流れ通路 ( 4 ) を通ってクリーニングしたい排気流 ( 6 ) が通過案内可能である、流れ通路 ( 4 ) と、

液体を排気流 ( 6 ) に噴霧可能である、前記流れ通路 ( 4 ) 内に配置された液体噴霧装置 ( 8 ) と、

滴及び / 又はエアゾールとして前記排気流 ( 6 ) から落下する液体を捕集するための、斜めに配置された捕集面 ( 1 2 ) を有する粒子分離器 ( 1 0 ) と、

前記捕集面 ( 1 2 ) に対応して配置された液体導出装置 ( 1 6 ) と、  
を備え、

前記捕集面 ( 1 2 ) の表面は、全体的又は部分的に、多孔質構造を有する材料 ( 1 4 ) を備える、排気をクリーニングする装置 ( 2 ) であって、

多孔質構造を有する前記材料 ( 1 4 ) は、弾性的なフォーム構造体として形成されていて、マットとして、前記捕集面 ( 1 2 ) 上に取り付けられており、前記捕集面 ( 1 2 ) は、前記流れ通路 ( 4 ) 内で、排気流 ( 6 ) の流れ方向において、前記液体噴霧装置 ( 8 ) の上流側に配置されていることを特徴とする、排気をクリーニングする装置。

【請求項 2】

多孔質構造を有する前記材料 ( 1 4 ) の中空室は、1 インチあたり 7 ~ 1 4 個の孔数を有する、請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

多孔質構造を有する前記材料 ( 1 4 ) は、5 mm ~ 1 0 mm の厚さを有する、請求項 1 又は 2 記載の装置。

【請求項 4】

多孔質構造を有する前記材料 ( 1 4 ) は、プラスチックから製作されている、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の装置。